



ひまわりサロンの活動紹介 さつき会（市之倉地域）



毎月第1・3金曜日の午後、青年会館で、地域のボランティアが開催しています。参加する地域の高齢者は、手芸や折り紙など、それぞれがやりたいことに必要な材料を持参し、おしゃべりを楽しみながら作品を作っています。制作では作品の作り方を教え合い、おしゃべりでは野菜の育て方や漬物の作り方などを話題に交流を深めています。サロンの終わりには「また、元気で会おうね」と、次回を楽しみに声を掛け合っています。



高齢者支援センター

楽しみながら脳の健康教室

7月5日から毎週火曜日(12月13日まで)に、総合福祉センター(太平町)で開催しています。65歳以上の方15人が参加し、学習サポーター(ボランティア)の8人が脳のトレーニングを指導しています。脳のトレーニングは、簡単な読み書き・計算をしたり、すうじ盤を使ったりします。簡単な事を早い時間で行うことで、脳の働きを若くし、認知症を予防します。また、人とのコミュニケーションも脳を活性化します。参加者は、トレーニングの前後のおしゃべりや、ゲームで親交を深め、楽しみながら脳のトレーニングに取り組んでいます。

脳のトレーニングの例

○計算

1 + 5 = □ 8 + 2 = □
6 - 3 = □ 9 - 1 = □

○読み書き

「今日はいいい天気です…」

文章を読み、漢字を書きましよう
てんき=□□

○すうじ盤

丸い駒を①から順に早く並べよう

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑩	⑪	⑫
⑧	⑨	→					⑬	⑭	⑮



多治見のお元気さん

今日のお元気さんは、
高田町の宮嶋敏美さん(92歳)です。

宮嶋さんの趣味は、書道とカラオケです。書道は師範を持つ腕前で、個展を開いたこともあります。カラオケには毎日通い、青春歌や恋唄を好んで歌っています。妻を介護した27年間の生活でも、介護の合間に書道に打ち込み、寝たきりの妻に歌を歌って聞かせたことがきっかけで、カラオケが好きになりました。また、その介護の日々をつづった手記が、看護の日の制定(平成3年)にちなんで、厚生省が募集した作文コンクールで厚生大臣賞を受賞しました。

食事や家事など、身の回りのことは自分で行う宮嶋さんは、①新聞を読む②日記をつける③趣味を持つ④料理をする⑤大きな声でハツラツと！⑥散歩をする⑦恋をする、毎日この7つを心掛け、「いくつになっても恋を忘れず…」と、はにかみながら話されました。



障害者福祉センター 俳句コーナー

なんてん

南天の 花重たげに 雨の中
飯田 信子

ろうおう

老鶯や 長いリハビリ 耐えており
伊藤 君代

社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会とは

社会福祉活動を推進する営利を目的としない民間組織です。地域住民、福祉施設・団体、関係機関とともに、地域の人々が住み慣れたまちで、安心して生活することができる「福祉のまちづくり」の実現を目指し、さまざまな活動に取り組んでいます。

※社会福祉法人=社会福祉事業を行うことを目的として、社会福祉法の規定により設立された法人。公共性が極めて高く、営利を目的としない民間の法人。

